

新入生のみなさんへ

生物生産学部学生 野 嶋 留 美

新入生のみなさん、御入学おめでとうございます。長かった受験戦争から開放されて、ほっと一息ついたのもつかの間、入学の手続き、引っ越しなど忙しかったことと思います。親元を離れて寂しい思いをされている方もいると思いますが、これから楽しい未知なる大学生活が待ってるんですから、がんばって下さい。今になって思い出すあの頃は初々しかったなあ、って思ってしまうけど。

みなさんの大学生活はまず広島市内の千田キャンパスで始まるわけですが、順調にいけば、1年半後にはここ、西条へ進学するわけです。そこで、この“西条”について紹介してみよう、と思います。

私のもつ西条への感想は、「自然が多くて、人が少なくてのびのびできるよ、けど不便だよ。」てところです。西条で夜空を見上げたら思わず「キレイ」ってつぶやいてしまいますよ。また、生物生産学部の学生数が比較的少ないのに、建物自体は大きいので、千田キャンパスでの休み時間の階段のような、人が多すぎて身動きがとれない、なんてことは絶対に、ありません!!。でも、街へ出たとき、人ごみを嫌がるようになるかもしれませんね。しかし、それ以上に不便な点もいっぱいあ

ります。公共の交通手段が少ない、郵便局・銀行が近くにない……など。やっぱり車は必要かもしれませんね。雨の日など、車を持っている人はきっと人気者になれるでしょうね。西条と市内とを比較したらきりがありませんけど、みなさんが来られる頃には広大生もたくさん増えて、今よりずっと住みよくなってるでしょう。発展性はあります。期待していきましょう。

西条にいて初めて、自分が生物生産学部の学生であることを実感できると思います。千田キャンパスで、生物生産の先生方と話す機会は皆無に等しかった、と私は思います。私も西条へ来て、本当に様々な先生がいらっしゃるのだなあ、と思いました。先生方の研究内容、講義などにふれて、大学へ入った目的を再確認できるんじゃないかな、と思います。そんな中で、自分自身の興味のあること、やってみたいこと、かけがえのない友達、尊敬できる先生、きっと見つけられると思います。

みなさんのこれから始まる大学4年間は長いように思えますけど、光陰矢のごとし、あっという間です。悔いのない、一生忘れられないような学生生活であることを望みます。